給与上手くんα ProⅡ　バージョンアップ情報 Vers-22.013

2022 年 12 月 8 日
日本ＩＣＳ株式会社

●給与上手くんα ProⅡ　Version 13.101

●給与上手くんαクラウド ProⅡ・給与上手くんαクラウド SE ProⅡ　Version 13.101

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆　給与・賞与

➢　年末調整データ入力

①控除入力画面の住宅借入金等区分を２つ適用している場合、特別控除可能額は自動計算できない為実額入力しますが、その後明細書入力で支給額を変更すると実額入力を０円に変更していたのを、支給額を変更しても実額入力が変わらないように修正しました。

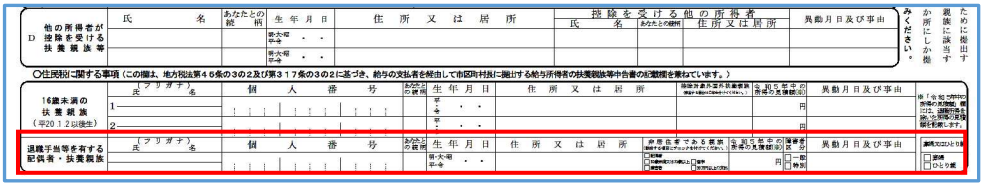
◆　年末調整／出力処理（年調関係）

➢　給与所得者の扶養控除等（異動）申告書

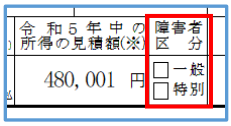
①住民税に関する事項の「退職手当等を有する配偶者・扶養親族」欄の**配偶者の出力において、**下記のように変更しました。※『令和５年以降の給与マスター及び年調のみマスター』

・扶養情報②画面の“退職所得を除いた所得見積額”が 1,330,000 円超の場合、配偶者を出力しないように制御しました。

※1,330,001 円の場合、入力画面で☑を付けていても、配偶者情報（氏名・生年月日等）を出力しないように制御しました。　（1,300,000 円以下の場合は出力されます。）



・配偶者の出力において“退職所得を除いた所得見積額”が 480,000 円超の場合、扶養情報②画面で選択した障害者区分を出力しないように制御しました。
（480,000 円以下の場合出力されます。）



②翌年分の申告書を出力した場合、扶養親族が今年は非居住者で要件を満たしているが、翌年には該当しなくなった場合、“生計を一にする事実”欄に入力した内容が出力されていたので、出力しないように修正しました。

※令和 ４ 年当年２９歳（非居住年齢要件チェック）の人は→翌年３０歳で非居住要件が未選択となり非居住者ではなくなるので現在入力されている“生計を一にする事実”欄は、令和５年出力では出力しないようになります。

注意

●他のＩＣＳシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のＩＣＳシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

※上手くんαシリーズは Windows8.1 及び SQL Server 2012 において、2023 年 1 月 10 日をもってサポートを終了させていただきます。期日以降に提供しますプログラムは、Windows8.1 及び SQL Server2012 搭載機にはインストール不可となります。

以上